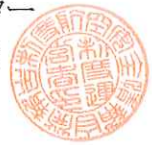


ATEC-技-17-070
平成 30 年 3 月 30 日

国土交通省 航空局
安全部 安全企画課長
多門 勝良殿

公益財団法人 航空輸送技術研究センター
事務局長 島村 淳



平成 29 年度航空安全情報自発報告制度に基づく提言について

平素より当法人が行う航空安全情報自発報告制度 (VOICES) の運営に対しご理解賜り厚く御礼申し上げます。

平成 29 年度、VOICES に寄せられました航空安全情報について分析検討 WG 及び分析委員会において検討した結果、「航空安全プログラムの適用に伴う安全情報 (自発報告) 分析業務仕様書」2.(3)③項に従い別紙の安全対策を提言させていただくことといたしました。つきましては提言の内容についてご検討のうえ御高配賜りますようお願い申し上げます。

【提言】

類似コールサインに起因すると考えられるヒヤリハット事例が複数報告されている。具体的な事例としては、パイロットが類似コールサインを有する他機への管制指示を自機への指示と取り違えたり、管制官が類似コールサインを有する別の航空機に管制指示する事例などがある。

類似コールサインに起因する問題の解消については、過去からさまざまな取り組みが行われており、昨年度の提言内容を踏まえ、従来の国内線中心の取り組み状況に加え、国際線も含めた対処についても検討が進められている。一方、今年度報告された類似コールサインに関連するヒヤリハット事例では、以前として類似コールサインの複数便が同時期に同じ空域に存在していることから、管制機関および便名を決める航空会社が協力して類似コールサインを低減する取り組みを検証し、類似コールサインに起因するヒューマンエラー等の発生リスク低減に向けた更なる対応について検討されたい。

【背景説明】

平成 29 年度には類似コールサインに起因するヒヤリハットが 8 件報告されました。そのうちの 2 件は、同一の事象に対して、管制官とパイロットから別々に報告されたものであり、実質としては 7 件となります。その 7 件の事例報告のうち、5 件は同一航空会社間での類似コールサインでの報告であり、他の 2 件は国内航空会社間での類似コールサインによるヒヤリハット報告となっております。これらのヒヤリハット報告では、パイロットだけでなく、管制官も類似コールサインに起因してエラーを起こしております。以下に、それぞれの代表的な事例を 3 件紹介します。例 1 に管制官とパイロット双方にエラーが生じた事例、例 2 に管制官のエラー事例、例 3 にパイロットのエラー事例を紹介します。

例1) K空港行き○△2401 (FL150へ降下中) とM空港行き○△2431 (FL260で巡航中) は同一空域を飛行していた。APPへ○△2401を移管するときに、ACCは誤って○△2431と呼びかけて○△2431を移管した。APPは、呼び込んできた○△2431を○△2401と呼び、10,000ftまでの降下を指示した。○△2431は、自機への降下指示と思い降下を開始した。ACCは、○△2431が降下したことに気づき、同機へ直ちに呼びかけたが応答がなかった。直後、同一空域を飛行していた○△2400からの指摘で、○△2431がアプローチへ移管されていることが判明した。

【FEEDBACK No. 2017-03-68 および 2017-03-69】

例2) HNDから北方面に向かって出発しました。便名○△59でした。滑走路34Rを使用し、離陸後、DEPとContactしたところ、“○△19 Turn Right Heading 150 Radar Vector to TAURA”、とききました。へーなんでー? 同時刻に滑走路05から○△19便が離陸していたのです。そして、私たちが滑走路05で使用するFREQで呼び出してしまったのです。ATCは、すぐさま“○△19?”と聞いてきたので“○△59”と答えると正しいFREQをAssignされ事なきを得ました。

【FEEDBACK No. 2017-02-26】

例3) ○△875便です。我々の前に他社機が飛んでいて、当該ACCに、後から○△873が入って来ました。○△873は、TCASには映っていませんでした。他社機が、次のセクターに移管され、そろそろウチが呼ばれると構えていたのがよくなかったのですが、“○△ 873, Contact…”と呼ばれていたにもかかわらず、我々が呼ばれたたと勘違いして、副操縦士のAcknowledgeも確認せず、答えてしまいました。直ぐにATCから“○△ 875, remain this frequency ”と、指摘され、○△873が先に移管されました。

【FEEDBACK No. 2017-03-54】

その他の報告事例(4事例)

【FEEDBACK No. 2017-03-7】

【FEEDBACK No. 2017-02-39 (その1、その2、その3)】

以上